

第74回 全道身体障害者福祉大会 札幌大会



日時 令和8年9月28日(月) 13:30~16:30
場所 札幌ガーデンパレス

主催：一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会

大会スローガン

北身協および加盟団体の

組織強化を図ろう

心のバリアフリーを

地域に根づかせよう

私たちの活動で防災減災に

積極的に関わろう

目 次

大会スローガン

目 次	1
大会次第	2
大会長あいさつ 一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長 田中 利和	3
祝 辞 北海道知事 鈴木 直道	4
北海道議会議長 伊藤 条一	5
大会役員	6
後援団体	6
令和8年度北海道善行賞受賞者名簿	7
令和8年度日本身体障害者福祉連合会会長表彰受賞者名簿	7
令和8年度北海道身体障害者福祉協会会長表彰受賞者名簿	8
<講 演>	10
<全体会議>	
第73回 帯広大会 要望事項処理報告	31
第74回 札幌大会提出議案	35
大会宣言（案）	39
大会決議（案）	40
【関係資料】	
実行委員会名簿	41
札幌大会 参加団体一覧	42
全道身体障害者福祉大会 開催地一覧表	43
会場案内図	44

大会次第

式典及び表彰

13:30

- | | | |
|-----------|--|----------------|
| 開会のことば | 副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長） | 大橋 俊彦 |
| 1 国歌斉唱 | | |
| 2 黙 祷 | | |
| 3 主催者あいさつ | 大会長（北海道身体障害者福祉協会会長） | 田中 利和 |
| 4 表 彰 | 北海道善行賞
日本身体障害者団体連合会会長表彰
北海道身体障害者福祉協会会長表彰 | |
| 5 祝 辞 | 北海道知事
北海道議会議長 | 鈴木 直道
伊藤 条一 |
| 6 来賓紹介 | | |
| 7 祝電披露 | | |
| 8 謝 辞 | 受賞者代表 | 函館市 山田 行広 |
| 閉 式 | | |
| | (休 憩) | |

講 演

14:45

- ◆演 題 「皆が知っておきたい がんの知識」
- ◆講 師 公益財団法人北海道対がん協会 副会長
(北海道がん検診センター所長) 加藤 秀則 氏

全体会議

15:30

- | | | |
|----------------|-----------------------|-------|
| 1 開 会 | | |
| 2 議長選出・あいさつ | | |
| 3 第73回帯広大会処理報告 | 北海道身体障害者福祉協会常務理事・事務局長 | 佐藤 裕人 |
| 4 審 議【要望事項】 | | |
| 5 大会宣言提案・採択 | 北海道身体障害者福祉協会理事 | 佐橋 忠男 |
| 6 決議提案・採択 | 北海道身体障害者福祉協会理事 | 澤 俊平 |
| 7 議長退任 | | |
| 8 次期開催地・挨拶 | 砂川身体障害者福祉協会会長 | 大橋 俊彦 |
| 9 万歳三唱 | 北海道身体障害者福祉協会理事 | 加藤 強 |
| 10 閉会のことば | 副大会長（北海道身体障害者福祉協会副会長） | 白幡 浩 |

閉 会

16:30

大会長 あいさつ



一般社団法人北海道身体障害者福祉協会

会 長 田 中 利 和

本日、ここ北海道の中心都市である札幌において、ご来賓の皆様をはじめ、全道各地から多くの会員の皆さまにご参加いただき第74回全道身体障害者福祉大会を開催できますことは、心より嬉しく思い深く感謝申し上げます。

大会の開催にあたり、北海道、北海道社会福祉協議会をはじめ多くの皆様から格別なるご協力とご支援を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。

また、永年にわたり地域社会で、ご自身がその障がい克服され、懸命に努力されたこと並びに障がい福祉活動、援護活動などが評価され、本日、表彰される皆さま方には心からお祝いと感謝を申し上げます。

これからもご健康に留意され、それぞれの地域で、より一層ご活躍されますことをご祈念申し上げます。

さて、本年は、障害者権利条約が国連で採択されてから20年という節目の年であります。障害のある人の尊厳と権利を大切にするという考え方は、国際的にも共有されるようになりました。私たちの地域においても「私たちのことは私たち抜きに決めないで」という理念を大切にしながら、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、改正障害者差別解消法が施行され、努力義務とされていた民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されてから二年が経過しておりますが、まだまだ理解啓発が進行していない状況にあります。

本法律の実効性をより一層、高めるためには、地域において心のバリアフリーの理解を深め、普及していくことが、ますます重要となっています。

北海道身体障害者福祉協会では、こうした法律の普及啓発を行うとともに様々な補助事業や委託事業等を通して、加盟団体の皆さまと組織強化を図りながら、北身協の活動にご支援いただいている関係団体、企業の皆さまと一緒に、北海道に根ざした心のバリアフリーを広げ、障がい者差別のない誰もが住みやすい地域社会をめざして、一層努力をしてまいりたいと考えております。

結びに、本大会にご参加いただきました皆さまのご健勝と今後ますますのご発展を祈念申し上げますとともに、大会の運営にご尽力いただきました関係各位の皆さまにお礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

祝

辞



北海道知事

鈴木 直 道

第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会が、多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

一般社団法人北海道身体障害者福祉協会をはじめ関係の皆様におかれましては、日頃から、障がいのある方々の自立と社会参加の促進を通じて、本道における福祉施策の推進に多大なるご尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

また、長年のご功績により表彰を受けられる皆様に、心よりお祝い申し上げます。

障がいのある方々に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向け、令和6年に障がい者差別解消法の改正や行動計画が策定され、障がいを理由とする様々な困りごとの相談窓口「つなぐ窓口」が本格的に運用されるとともに、理解促進ポータルサイトが充実されるなどの環境づくりが進められています。

本年は、北海道ゆかりの選手をはじめ多くの日本選手の活躍が記憶に新しいミラノ・コルティナパラリンピック冬季競技大会の開催や第5回アジアパラ競技大会の日本初開催が間近に迫るなど、障がい者スポーツを通じたさらなる理解促進が期待されます。

一方で、令和8年熊本地震により、支援を必要とする障がいのある方の避難対策はもとより、平時、災害時を問わず地域で孤立しない支援体制を構築していくことの重要性が改めて認識されたところです。

こうした中で開催される本大会は、全道の関係者が一堂に会し、地域が直面する課題に関する知見の共有や活発な意見交換が行われると伺っており、参加される皆様には、多くの仲間と議論を重ね、交流を深められる貴重な機会とされることをご期待申し上げますとともに、貴協会におかれましては、引き続き、本道における共生社会の実現に向け、お力添えを賜りますようお願いいたします。

道としましては、「ほっかいどう障がい福祉プラン」のもと、貴協会をはじめ関係の皆様と連携して、総合的な福祉サービスの充実に取り組みながら、バリアフリーの理念の普及啓発をはじめ、様々な形で障がいに対する理解促進を図るとともに、障がいのある方々の社会参加の促進や権利擁護の推進など、障がいのある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に暮らす社会づくりを進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会のご成功と、北海道身体障害者福祉協会のますますのご発展、並びにご参加の皆様のご多幸を心より祈念し、お祝いのことばといたします。

祝 辞



北海道議会議長

伊 藤 条 一

本日、全道の身体障害者関係団体の皆様が一堂に会し、「第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

本大会を主催される北海道身体障害者福祉協会の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、日ごろから障がい者の社会参加の推進や福祉の向上にご尽力されていることに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

また、本大会においては、障がいを乗り越え社会の様々な分野で活躍されている方や、長年にわたり障がいのある方々の自立支援に尽力されてきた方が、その優れた功績とこれまでの努力が高く評価され、栄えある表彰を受けられますことは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。

長い歴史と伝統を有する本大会は、障がいのある方々の自立や生活の安定に大きく貢献し、北海道における障がい者福祉の発展を支えてきた大変意義深い大会であり、全道各地で活動される関係者の皆様が、それぞれの活動や経験を共有しながら交流を深めるとともに、今後の障がい者福祉のさらなる発展について理解を深める重要な機会でもあります。

障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら暮らす社会を実現していくことは、すべての道民の願いであります。

北海道においては、「ほっかいどう障がい福祉プラン」のもと、障がいのある方の権利擁護の推進、地域生活支援体制の充実、意思疎通や手話に係る施策など、希望するすべての障がい者が安心して地域で暮らせる社会の実現に向けた取組が着実に進められており、本日の大会を契機に、共生社会への理解がますます深まることを期待しております。

北海道議会といたしましても、議会での議論はもとより、全国都道府県議会議長会を通じて、国に対し、「障害者施策の推進」について要望するなど、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた包括的な支援体制の充実に努めております。すべての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合い、自分らしく暮らせる共生社会の実現に向け、関係する皆様と緊密に連携し、力を尽くしてまいります。

結びに、本日の大会が実り多いものとなりますことを、ご期待申し上げますとともに、北海道身体障害者福祉協会並びに各関係団体の今後ますますのご発展と、お集まりの皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

大会役員

大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長	田中利和
副大会長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	大橋俊彦
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	白幡浩
運営委員	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会常務理事	佐藤裕人
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	阿部喜美夫
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	齊藤徹
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	須佐理恵子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	佐橋忠男
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	加藤強
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	澤俊平
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会代表監事	西田悦朗
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会監事	石川陽子

後援団体

北海道
 社会福祉法人北海道社会福祉協議会
 社会福祉法人北海道共同募金会
 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟
 日本赤十字社北海道支部
 公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金

令和8年度北海道善行賞受賞者名簿

【自立活動者】1名(敬称略)

市町村名	氏 名
当 別 町	みうら きょうこ 三 浦 京 子

【自立支援功労者】4名(敬称略)

市 町 村 名	氏 名
帯 広 市	たなか としかず 田 中 利 和
大 樹 町	さいとう とおる 齊 藤 徹
札 文 町	かわむら ひさえ 川 村 久 江
当 別 町	しぶや まさお 渋 谷 政 雄

令和8年度日本身体障害者団体連合会 会長表彰受賞者名簿

市 町 村 名	氏 名
紋 別 市	ふじた こうたろう 藤 田 孝 太 郎

令和8年度北海道身体障害者福祉協会 会長表彰 受章者名簿

【自立更生者表彰】3名(敬称略)

市 町 村 名	氏 名
函 館 市	やまだ ゆきひろ 山 田 行 広
新 冠 町	たばた ゆりこ 田 端 百 合 子
厚 真 町	ささき ゆうこ 佐々木 祐子

【援護功労者表彰】16名（敬称略）

市町村名	氏 名
新 冠 町	はせがわ て る お 長 谷 川 照 男
函 館 市	おおやま し げ る 大 山 茂
羅 臼 町	さ か い きょうこ 堺 京 子
蘭 越 町	なかじま よ う こ 中 嶋 洋 子
枝 幸 町	そ う ま て つ や 相 馬 哲 也
石 狩 市	あ か や ま よ し あ き 赤 山 好 明
蘭 越 町	て ら お あ き こ 寺 尾 ア キ 子
乙 部 町	さ と う す す む 佐 藤 進
長 沼 町	よ し だ か ず は る 吉 田 和 春
江 別 市	やぎはし ひ で ゆ き 八 木 橋 秀 幸
乙 部 町	さ わ や さ ち こ 沢 谷 幸 子
せたな町	も り み ゆ き 森 み ゆ き
せたな町	き つ や か ず よ し 木 津 谷 一 好
せたな町	は ら だ き み こ 原 田 キ ミ 子
せたな町	す ど う こ う じ 須 藤 幸 治
乙 部 町	あ べ ま ゆ み 阿 部 眞 弓

講

演

演 題

「皆が知っておきたい

がんの知識」



講 師

か とう ひで のり
加 藤 秀 則 氏

公益財団法人北海道対がん協会副会長
(札幌がん検診センター所長)

【経歴】

昭和 58 年 3 月	北海道大学医学部 卒業
昭和 58 年 4 月	北海道大学医学部付属病院 医員
昭和 58 年 9 月	札幌厚生病院 産婦人科 医師
昭和 59 年 4 月	国立札幌病院 産婦人科 医師
平成元年 4 月	九州大学生体防御医学研究所 生殖内分泌婦人科 医員
平成元年 9 月	同 助手
平成 5 年 8 月	米国ノースカロライナ大学 ラインバーガー癌総合研究所交換研究員、 NIEHS (NIH) 特別研究員
平成 8 年 8 月	九州大学生体防御医学研究所 生殖内分泌婦人科 講師
平成 15 年 9 月	九州大学病院別府先進医療センター 産婦人科副科長・講師
平成 17 年 6 月	国立病院機構北海道がんセンター 産婦人科医長
平成 20 年 4 月	同 統括診療部長
平成 25 年 4 月	同 副院長
平成 29 年 8 月	同 院長
平成 30 年 4 月	北海道大学大学院医学研究科 客員教授
令和 6 年 4 月	北海道対がん協会 副会長兼札幌がん検診センター所長

《認定資格・参加学会等》

医学博士号
日本産婦人科学会 専門医・指導医
日本産婦人科腫瘍学会 腫瘍専門医・指導医
日本癌治療認定医機構 癌治療認定医
日本癌学会
日本癌治療学会
日本臨床細胞学会会員 細胞診専門医
国際婦人科癌学会

MEMO

2026 Sep28 第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会:

皆が知っておきたいがんの知識

北海道対がん協会 札幌がん検診センター 所長
加藤秀則

がんの知識として持っていてほしいこと

1. がんの生物学

がん細胞の特徴、遺伝子の変異

2. がんの原因

環境、生活、ウイルス

3. がんの予防

4. がんの早期発見 ・ 生存率

5. がんの治療にはどんなものがあるの

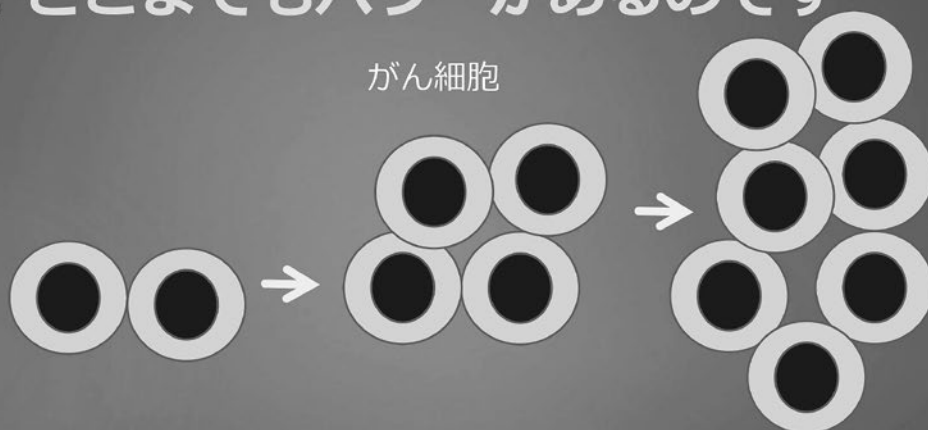
がんとは

がんとは、周囲臓器の浸潤をきたす、あるいは他臓器へ転移し、無秩序に増殖する自分の細胞(の塊)

＝歯止めの効かない増殖

(正常細胞：接触阻止)

ところががん細胞は無限増殖できるのです：どこまでもパワーがあるのです



がん遺伝子とがん抑制遺伝子 ～車にたとえると



がんは「遺伝子の病気」 そしていくつもの遺伝子が傷つく



2026/8/24

がんを起こす遺伝子の異常の誘発因子

細胞の老化

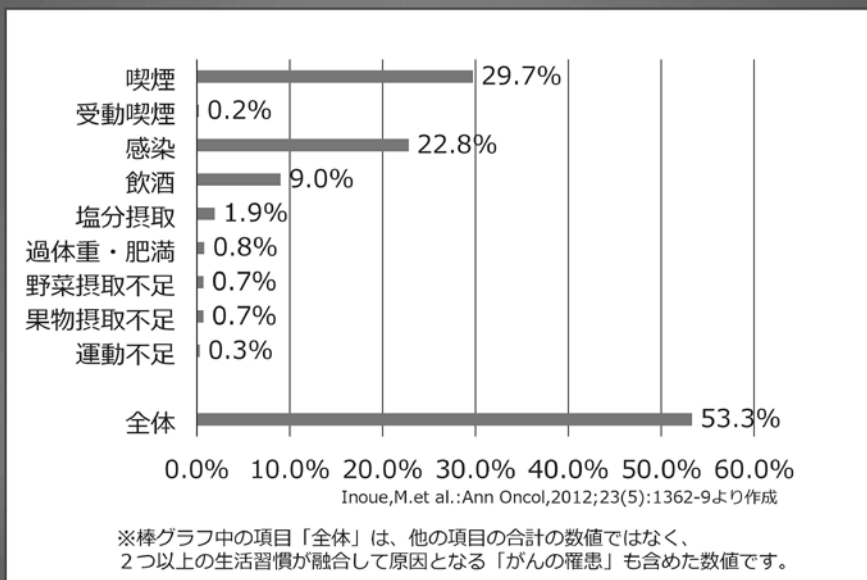
外来性の因子（発がん物質、ウイルス、慢性炎症、
生活習慣など）

遺伝的な因子（がん体質：遺伝性乳がん卵巣癌など）

がんの知識として持っていてほしいこと

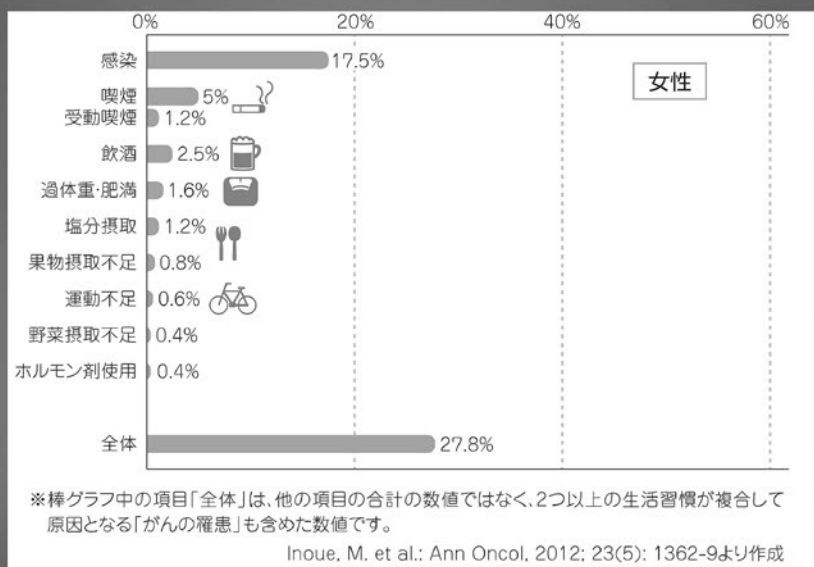
1. がんの生物学
がん細胞の特徴、遺伝子の変異
2. **がんの原因**
環境、生活、ウイルス、遺伝
3. がんの予防
4. がんの早期発見・生存率
5. がんの治療にはどんなものがあるの

日本人のがんの要因(男性)



がんの冊子「がん予防」より

日本人のがんの要因(女性)

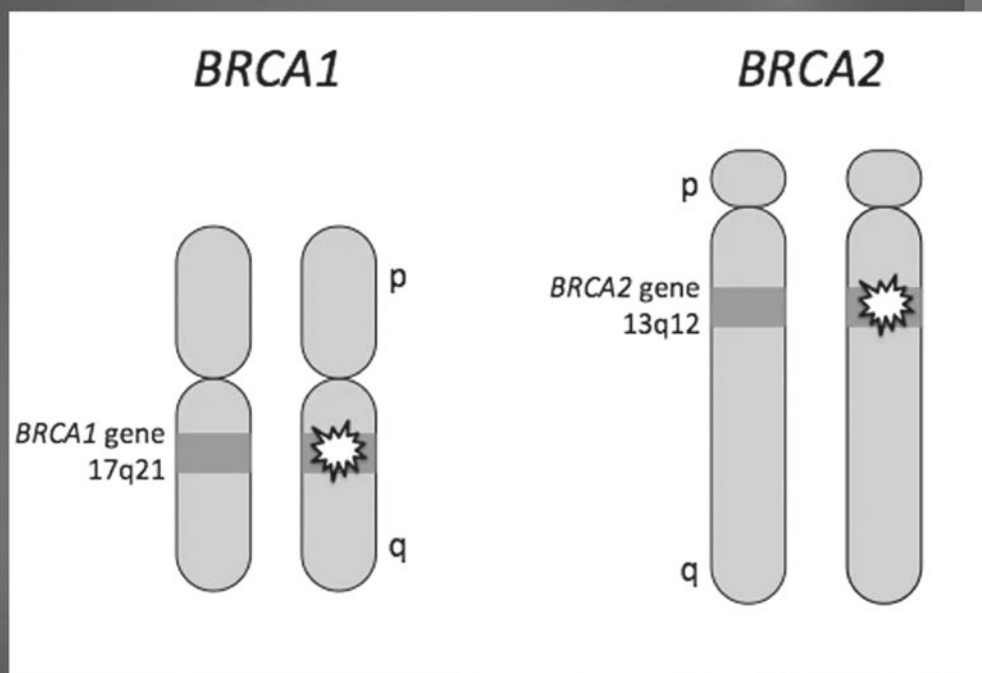


がんの冊子「がん予防」より

日本人におけるがんの原因

リスク要因	リスク要因に関連付けられるがん
喫煙（能動）	口腔と咽頭、食道、胃、結腸直腸、肝臓、すい臓、喉頭、肺、子宮頸部、卵巣、膀胱、腎臓、骨髄性白血病
受動喫煙	肺（非喫煙者）
飲酒	口腔と咽頭、食道、結腸直腸、肝臓、女性の乳房
過体重と肥満	結腸、すい臓、閉経後乳がん、子宮内膜、腎臓
運動不足	結腸、乳房、子宮内膜
野菜不足	食道、胃
果物不足	食道、胃、肺
塩分摂取	胃
感染	
1) ビロリ菌	胃（非噴門部）、胃MALTリンパ腫
2) C型肝炎ウイルス（HCV）	肝臓
3) B型肝炎ウイルス（HBV）	肝臓
4) ヒト・パピローマウイルス（HPV）	口腔、中咽頭、肛門、陰茎、外陰部、膣、子宮頸部
5) HTLV-1 （ヒトT細胞白血病ウイルス）	成人T細胞白血病/リンパ腫（ATL）
6) エプスタイン・バーウイルス（EBV）	鼻咽頭、バーキット・リンパ腫、ホジキン・リンパ腫
外因性ホルモン使用	女性の乳房

遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)



HBOCの頻度

がんの有無に関わらず、BRCA1/2 病的バリエントを持っている人の頻度は400人～500人に1人と考えられています¹⁾。

がんの患者さんが BRCA1/2 の病的バリエントを持つ割合も最近報告されています（図1）。その報告から、日本人乳がん患者の約4%、卵巣がん患者の約12%、前立腺がん患者の約1%、膀胱がん患者の約6%が BRCA1/2 いずれかの病的バリエントを保持していることが分かりました^{2) 3) 4) 5) 6)}。

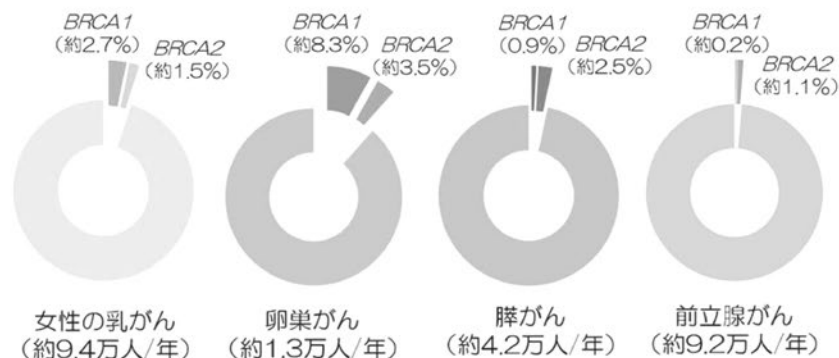
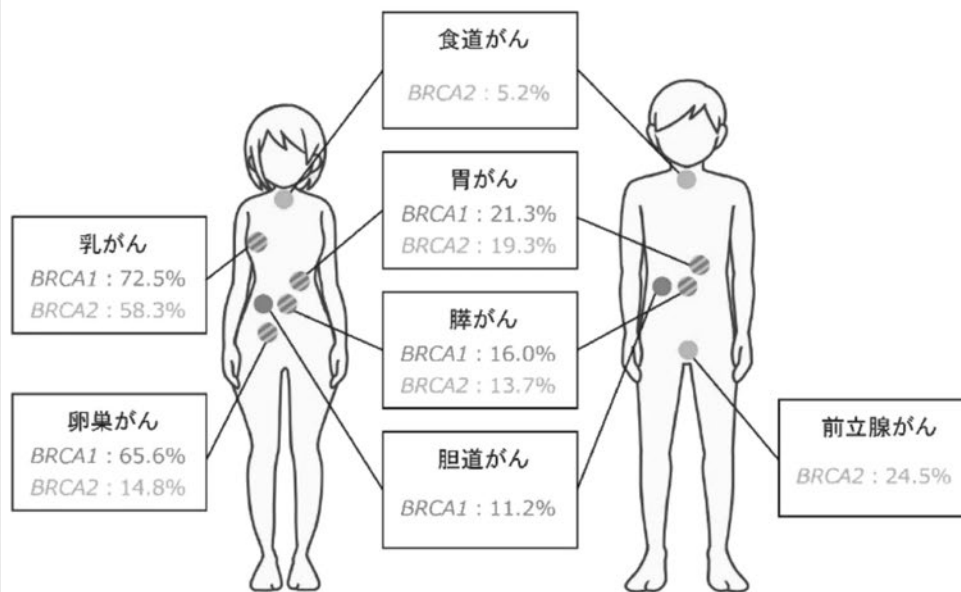


図1 本邦におけるHBOC関連がんのBRCA1/2 病的バリエント保持率^{1)~6)}

病的バリエント保持者の85歳までの累積罹患リスク



※記載が無い部位のがんのリスクが無いという訳ではありません

がんの知識として持っていてほしいこと

1. がんの生物学
がん細胞の特徴、遺伝子の変異
2. がんの原因
環境、生活、ウイルス
3. **がんの予防**
4. がんの早期発見・生存率
5. がんの治療にはどんなものがあるの

表2 がんの発生に関するウイルス・細菌

原因となるウイルス・細菌	がんの種類
ヘリコバクター・ピロリ(H. pylori)	胃がん
B型・C型肝炎ウイルス(HBV、HCV)	肝臓がん
ヒトパピローマウイルス (HPV)	子宮頸がん、陰茎がん、外陰部がん、膣がん、 肛門がん、口腔がん、中咽頭がん
エプスタイン・バーウイルス (EBV)	上咽頭がん、バーキットリンパ腫、ホジキンリンパ腫
ヒトT細胞白血病ウイルスI型 (HTLV-1)	成人T細胞白血病／リンパ腫

ピロリ菌除菌

プロトンポンプ阻害薬は以下のように数種類あります。
その中から1つ選択します。2種類の抗生物質の計3種類のお薬を服用します。

プロトンポンプ阻害薬 (PPI)		抗生物質	
			
タケプロンOD錠 (ランソプラゾール)	ネキシウム (エソナプラゾール)	サワシリンカプセル250mg (アモキシシリン)	クラリシッド200mg (クラリスロマイシン)

HPVワクチン

HPVワクチン

子宮頸がん

9価ワクチンの登場

90%以上
16,18,31,3
3,45,52,58
型

ワクチン

12000人

11000人

ワクチンと副作用

- ◎ ワクチン接種をされた女子中学生に重篤な神経症状が出現し複合性局所疼痛症候群（CRPS）と診断されている。その後公的には日本で3例（H25年4月時点）が報告された。ただしその時点でHPVワクチンは800万本使われており、その頻度はどうであろうか？世界的にも頻度はとても低い。
- ◎ 自然発生するCRPSと頻度は変わらないという調査結果も出ている

B型肝炎ワクチン

1986年 母子感染防止事業により公費で接種が開始されました。現在は健康保険で実施されています。
1992年 WHOがB型肝炎ワクチンを全世界の国々が実施するように勧告。2013年までに183カ国で乳幼児の予防接種を導入しています。2016年10月から定期接種となります。

推奨されるスケジュールは
初回 接種 生後2ヶ月
2回目接種 生後3ヶ月
3回目接種 生後7～8ヶ月



肝炎治療薬

B型

B型肝炎の場合は核酸アナログ製剤という内服薬でウイルスの増殖を極力抑える治療法があります。ウイルスの増殖を極力抑えることによって慢性肝炎、肝硬変への進展阻止が可能です。また肝がんの発症予防も期待できます。

C型

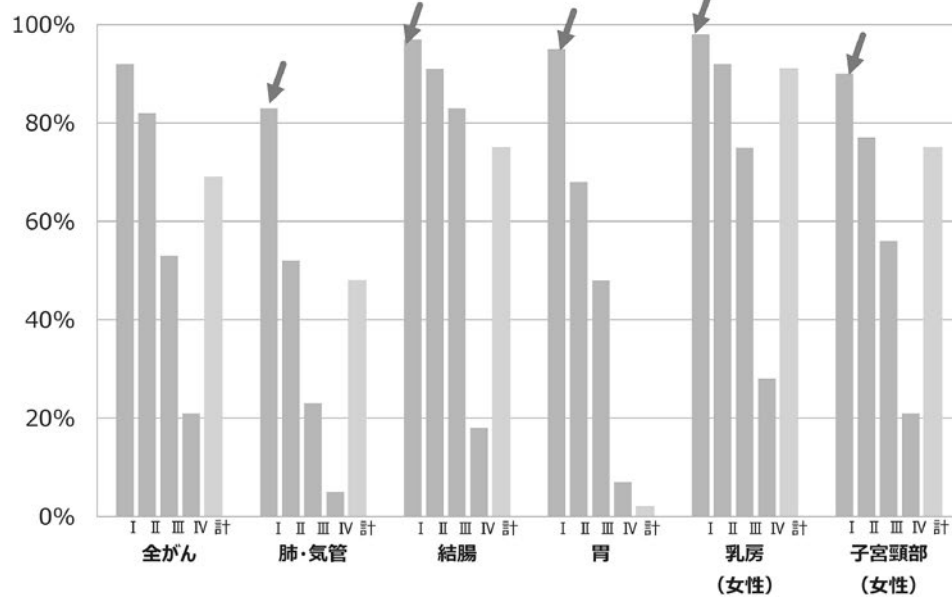
内服薬による抗ウイルス剤（DAA）療法が導入されました。最短で3カ月間内服するだけで95%以上の方が治癒できます。

がんの知識として持っていてほしいこと

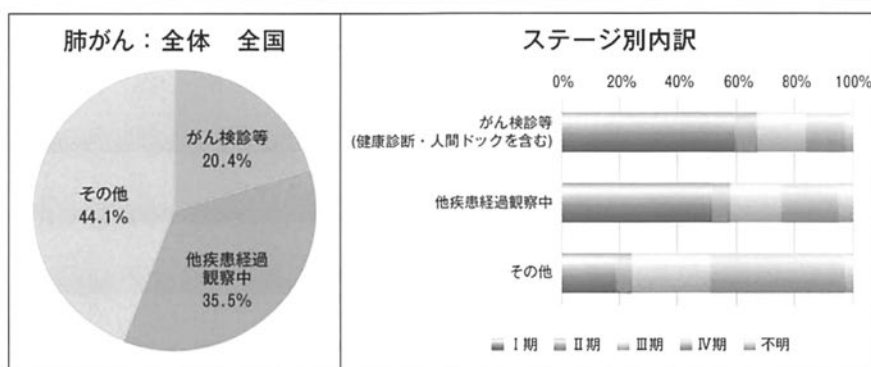
1. がんの生物学
がん細胞の特徴、遺伝子の変異
2. がんの原因
環境、生活、ウイルス
3. がんの予防・生存率
4. **がんの早期発見・生存率**
5. がんの治療にはどんなものがあるの

臨床進行度5年相対生存率

5年相対生存率%



発見経緯の割合と病期(ステージ)割合 肺



検診が増加すれば早い病期の患者が増える

「がん検診等による早期がん発見の現状」
九州大学病院がんセンター、福岡県がん診療連携協議会がん登録専門部会

がん検診受診率の国際比較

(1) 乳がん Breast cancer



(2) 子宮頸がん Cervical cancer



がんの統計'14 (がん研究振興財団)

がんの種類・進行度別 10年生存率

がんの種類	ステージ 1 (%)	ステージ 2 (%)	ステージ 3 (%)	ステージ 4 (%)	全体 (%)
前立腺がん	100	100	100	44.7	98.7
女性の乳がん	99.1	90.4	68.3	16.0	87.5
子宮内膜がん	95.2	84.5	68.1	18.9	83.0
子宮頸がん	92.9	71.9	54.6	16.9	70.7
大腸がん	93.6	83.9	69.4	11.6	67.2
胃がん	90.9	59.3	34.6	6.9	66.0
ぼうこうがん	81.9	59.3	43.9	11.9	65.1
非小細胞肺がん	72.4	35.2	13.5	2.0	34.5
食道がん	68.2	37.4	18.8	5.8	33.6
肝細胞がん	33.4	18.9	9.2	2.2	21.8
肝内胆管がん	32.1	29.5	8.1	0	10.9
小細胞肺がん	35.7	18.9	11.6	1.8	9.1
すい臓がん	35.4	13.0	4.1	0.8	6.5

がんの知識として持っていてほしいこと

1. がんの生物学
がん細胞の特徴、遺伝子の変異
2. がんの原因
環境、生活、ウイルス
3. がんの予防
4. がんの早期発見 ・ 生存率
5. **がんの治療にはどんなものがあるの**

がんの治療 4 大作戦

1. 手術
2. 放射線
3. 抗がん剤
4. 免疫

がんの治療 4 大作戦

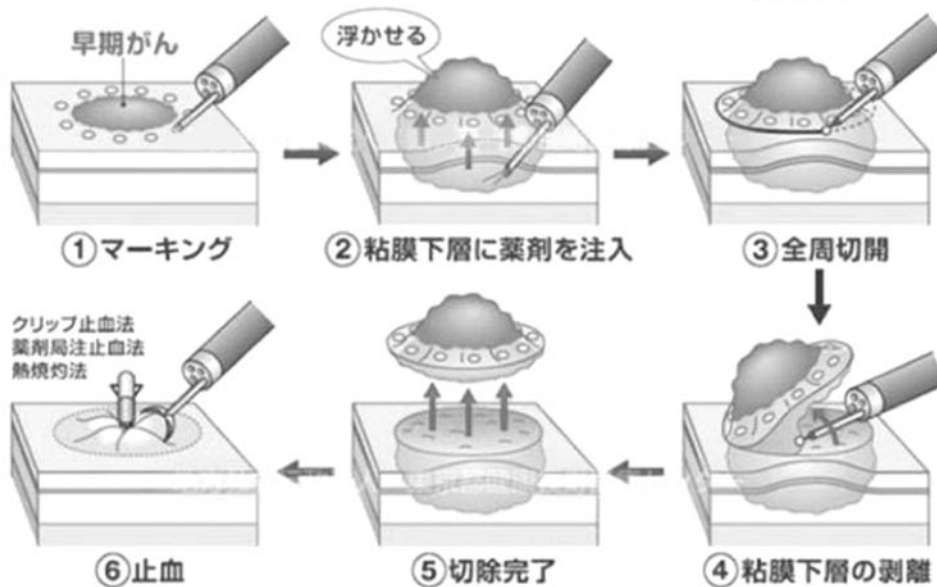
1. 手術
2. 放射線
3. 抗がん剤
4. 免疫

外科手術の革新



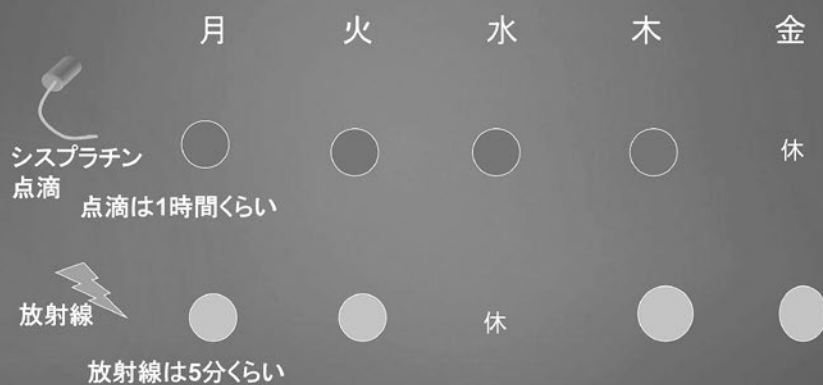
ESD法（内視鏡的粘膜下層剥離術）

食道がん・胃がん・
大腸がん



進行子宮頸がん：
手術不能例Ⅲ期の治療

浸潤の深い例は放射線と抗がん剤を同時併用しよう 治療例



抗がん剤

従来からの殺細胞性製剤

シスプラチン
アドリアマイシン など

分子標的薬

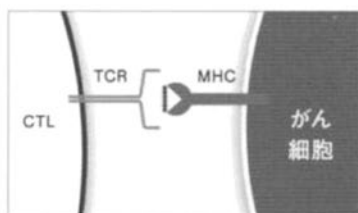
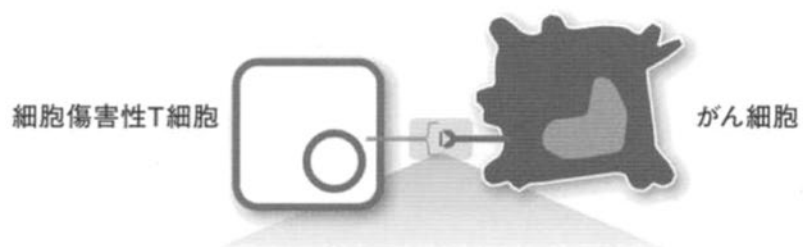
肺がんを使う
ゲフィチニブ
シゾチニブ など

がんの治療 4 大作戦

1. 手術
2. 放射線
3. 抗がん剤
- 4. 免疫**

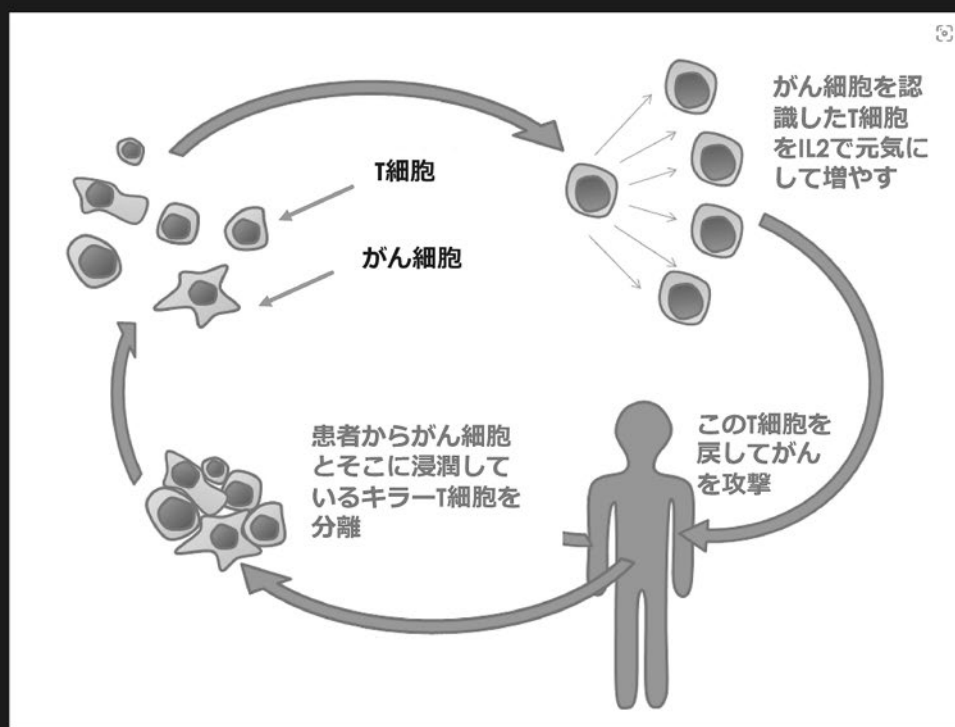
CTLとPD-L1

[2] PD-1/PD-L1と抗PD-1/PD-L1抗体



CTLによるがん細胞の傷害

・活性化したT細胞は、細胞傷害性T細胞 (CTL) としてがん細胞を傷害する。



がん治療におけるADCの働き



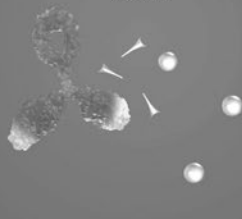
ADCが
血液中を
循環し

がん細胞内に
ADCが取り込まれると

①抗体が



②リンカーが切断され



③薬物が



第73回 帯広大会要望事項処理報告

1 宿泊施設のバリアフリー化の推進について

(一般社団法人釧路身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

私たち身体障害者は、基礎疾患などの持病を抱える方も多く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大期間は極力外出を控え、会員同士の集まりを控えていました。

コロナ禍が下火となり身体障害者福祉協会では、湯治運動などのレクリエーションや、全道身体障害者福祉大会への参加など、宿泊を伴う行事を再開しています。家から外へ出て、会員同士が親睦を図ることの素晴らしさを改めて実感しています。

しかし、訪日外国人観光客の増加や昨今の物価高騰などの影響により、宿泊施設の確保が困難を極めています。大手ホテルチェーンなどはバリアフリー化が進んでおり身体障害者も利用しやすくなりましたが、すべての宿泊施設が対応しているわけではありません。

やむを得ずバリアフリー化が進んでいない宿泊施設を利用する場合は、参加会員同士ができる範囲で助け合っていますが、高齢化が進んでいるため、介助をするのにも危険な場面が散見されます。改正障害者差別解消法が施行され、昨年度から民間事業者にも合理的配慮が義務付けられております。

【要望事項】

身体障害者が安心・安全に旅行を楽しめるよう、宿泊施設のバリアフリー化、あわせて施設内に少なくとも1か所以上の多目的トイレの設置が進みますよう、国・地方公共団体が補助金等の財政支援を行うとともに、関係機関等への働きかけについて要望します。

(回答：北海道)

建築物内に設ける「車椅子使用者用便房」や「車椅子使用者用駐車施設」等については、バリアフリー化を着実に進めるための環境整備が求められていることを踏まえ、令和7年6月の省令改正により、これまで、建物内に1以上の設置が求められていたトイレの設置数が、原則、各階に1以上とされるなど、国においてバリアフリー基準が見直されたところですが、基準への適合義務が課せられている建物は一定以上の床面積を有する建築物で、小規模建築物は努力義務となっています。

道では、行政や建築、飲食店、ホテル等の観光関係、交通など、幅広い分野の団体等で構成する「北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会」において、障がい当事者の皆様の声を共有してきたほか、今般の省令改正につきましても、当該協議会で共有を行い、障がいのある方や高齢者等が利用しやすい公共的施設の整備が図られるよう、各構成団体に働きかけてきたところです。

今後とも、パネルやリーフレット等を活用した展示会の開催などの普及啓発活動等にも取り組み、福祉のまちづくりが一層推進されるよう努めてまいります。

2 北海道知事会見（LIVE配信）への字幕付与について

（一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会）

【現状と課題】

北海道意思疎通支援条例や、情報アクセシビリティ法の施行で、多様な意思疎通支援について明記されているところです。

聴覚障害者は、手話だけではなく文字情報を必要とする方も多くおりますが、現時点で北海道知事の会見（LIVE配信）には字幕等の文字情報がありません。

【要望事項】

聴覚障害者が「同一時点」で「同一内容」の情報取得ができるよう、字幕付与をお願いします。

※技術的には、音声認識アプリ(UDトークなど)を活用する手法が考えられます。

（回答：北海道）

道としては、障がいのある方々に対し、障がいのない方々と同等の情報を提供していくことが重要と認識していることから、まずは、令和8年1月より今年度の知事記者会見のアーカイブ動画について、会見録を元にした字幕の付与を行うこととし、今後順次作業を進めていきます。

リアルタイムでの字幕付与については、発信内容の正確性の確保が重要と考えており、現時点で、誤変換や短時間での文字修正が困難といった発信内容の正確性への懸念があることから、引き続き、音声技術の更なる精度向上などの状況を注視するとともに、様々な広報媒体を通じ、多様な意思疎通手段を用いた情報発信に取り組んでまいります。

3 聴覚障害者への支援の推進について

(釧路地区身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

昨年、開催されたあるスポーツ大会に参加した身体障害者手帳第1種3級を所持する聴覚障害のある会員より、ルール説明が十分に聞き取れなかったこと、また交流会においても周囲の雑音により会話が聞き取りづらく、とても寂しい思いをされたとのこと意見が出されております。

【要望事項】

聴覚に障害のある方々が安心して参加できるよう、「ヒアリングループシステム」の設置(可動式システムの導入を含む)並びに筆記通訳、要約筆記など聞こえのバリアフリーの推進について、関係機関等へ働きかけていただきたい。

(回答：北海道)

道では、「障がいのある方への配慮と情報保障のための指針」を策定し、情報保障に役立つ機器等について、ヒアリングループシステム等の活用や、要約筆記等の聴覚障がいのある方への意思疎通手段について市町村等へ周知しているところです。

引き続き、障がいのある方々との意思疎通をスムーズに行うための支援をしてまいります。

4 盲ろう者通訳・介助員派遣事業に係る費用負担について

(一般社団法人北海道身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

盲ろう者通訳・介助員派遣事業において、通訳・介助員の業務時間に要する交通費・参加費・入場料・施設利用料などは利用者（盲ろう者）が負担することになっている。

利用者（盲ろう者）自身が移動する場合の交通費については、利用者分と通訳・介助員分の2名分の交通費を負担しなければならない、通訳・介助員が2名派遣の場合には3名分を負担しなければならない。

利用者にとって負担は大きく、外出などをためらう利用者も多く、社会参加の妨げになっている。

【要望事項】

通訳・介助員の移動に係る交通費については、公費負担あるいは人数分の割引が適用されるよう、鉄道事業者や各種交通機関に強く働きかけていただきたい。

（回答：北海道）

盲ろう者通訳・介助員派遣事業における利用者の費用負担については、通訳・介助員の派遣に要する費用は無料となっておりますが、利用者の外出に必要な交通費等については、通訳・介助員に係る分も含めて、利用者の負担としております。

引き続き、ご意見なども伺いながら、意思疎通を図ることが困難な盲ろう者が自立した日常生活、社会生活を行うことができるよう、事業の安定的な運営に努めてまいります。

J R北海道においては、障害者割引制度を設け、障がいの種類に応じて介護者にも割引が適用されているところ。道としては、盲ろう者の利便性向上が図られるよう要望についてJ R北海道に伝えてまいります。

第74回全道身体障害者福祉大会提出議題（要望事項）

1 有料道路における障がい者割引制度の見直しについて

（釧路地区身体障害者福祉協会）

【現状と課題】

- ・ 現在、障がい者が有料道路、公共交通機関を利用する際は障害者割引制度が設けられていますが、有料道路においては、乗車定員 10 人以下の自動車等が対象であり、障がい者団体が貸し切りバス（定員 10 人超）を利用する場合には、割引制度が適用されない状況にあります。
- ・ こうした中、近年の燃料費や人件費の高騰により貸切バス料金は、上昇傾向にあり、バス利用者が負担する高速料金を含めると障がい者団体にとって更に負担増が懸念され、福祉活動継続に大きな影響が出てくるものと考えます。

【要望事項】

障がい者の社会参加の機会が損なわれないよう、貸切バスに係る有料道路の障害者割引制度の創設を要望します。

2 パーキングエリアのバリアフリースイレの設置拡大について

(釧路地区身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

- ・パーキングエリアの多目的（バリアフリー）トイレ設置数が1つでは足りておらず、長時間待機が発生する状況があります。現在は、車いす利用者・オストメイト・乳児連れ・内部障がい者・高齢者・介助が必要な人など、多様な方々が同一設備を利用しているため、混雑状況によって、必要なタイミングで利用できないケースが生じています。

【要望事項】

利用者が安心して利用できる環境整備に向けて、パーキングエリアの多目的トイレを2つ以上設置していただきたく、関係機関への働きかけを要望します。

3 公共交通機関における合理的配慮について

(石狩市身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

- ・公共交通機関において合理的配慮が義務化されているにもかかわらず、混雑した車内では特に杖歩行者等の身体障害者や高齢者は車内移動の際や降車時の移動をすることが困難で、自ら声を出して「すみません」「降ります」というアナウンスをしなければ移動できないという状況は、身体的・心理的負担が大きく私達にとって大きなストレスとなることがあります。混雑時、身体障害者は腕を上げたり身体を動かして意思表示をすることが難しかったり、声を出せない人への代替え手段が機能しにくく音声依存の降車行動が前提となっています。これは本来の合理的配慮の理念と整合せず制度と現場運用のギャップが生んだ問題であると考えられます。

公共交通機関、特に路線バスなどは減便され以前より遅延や混雑が顕著にみられます。

【要望事項】

- ・身体障害者が安全に社会参加できるよう降車支援アナウンスや声掛けの徹底、案内方法を行政として事業者と協議し合理的配慮の提供状況を点検し、改善策を検討していくよう要望します。

4 盲ろう者通訳・介助員派遣事業に係る利用時間制限について

(一般社団法人北海道身体障害者福祉協会)

【現状と課題】

盲ろう者が通訳・介助員を利用する派遣事業において、現在、年間240時間が上限時間となっている。

北海道内は、広域で都市が分散しており、利用者（盲ろう者）にとって、公共交通機関の不足からも移動時間が長時間となる場合が多く、より時間を要することとなり、実際の目的地での活動時間が制限され、上限時間を超えることも想定される。このため、一部利用者によっては、同行援護での対応に切り替えている場合もある。

また、公共交通機関が利用できない地域もあることから、通訳・介助員の自家用車活用も必要と考える。

こうしたことから、利用者が必要な外出に支障が生じることになり、外出などをためらうなど社会参加の妨げになることが想定される。既に他府県や札幌市をはじめ、上限時間の撤廃を実施して事例も多くある。

【要望事項】

- ・現在の年間利用可能時間の撤廃または利用時間数の増を要望します。
- ・通訳・介助員の自家用車使用制限の緩和を要望します。

大会宣言(案)

全道から参加した多くの仲間とともに、第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会を盛大に開催することができました。

北海道身体障害者福祉協会は、障害者権利条約を踏まえ、障害当事者参加のもと、障害者施策の促進と障害特性に配慮した社会環境の整備が図られるよう、加盟団体と強く連携し、全力で活動してまいりました。

また、障害者が孤独、孤立に陥らないためにも障害及び障害者に対する国民的理解を地域に根づかせるべく、私たちが主体となって取り組んでいかなければなりません。

さらに、災害時はもとより、いかなる時も、いかなる地域においても、障害を理由に不利益を受けることがあってはなりません。私たちは、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、関係団体と連携して取り組んでまいります。

北海道身体障害者福祉協会に結集する私たちは、互いにつながり合い、障害者権利条約の精神である「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」を念頭に置いて、強い連携のもと、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現を目指して、一致団結し、行動することを誓い、ここに宣言します。

令和8年9月28日

第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会

大会決議(案)

- 一 障がいの社会モデルの理解啓発を道内全域で進めよう
- 一 障害当事者参画のもとで障害関係施策を促進させよう
- 一 実効性のある災害時の障害者支援体制を構築させよう
- 一 改正障害者差別解消法の理解啓発を一層促進させよう
- 一 障害理解を広げ、地域で安心して暮らせる共生社会をつくろう

令和8年9月28日

第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会

第74回全道身体障害者福祉大会札幌大会 実行委員会名簿

役 職 名	所 属	氏 名
委 員 長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会会長	田 中 利 和
副委員長	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	大 橋 俊 彦
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会副会長	白 幡 浩
委 員	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会常務理事・事務局長	佐 藤 裕 人
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	阿 部 喜美夫
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	齊 藤 徹
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	須 佐 理恵子
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	佐 橋 忠 男
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	加 藤 強
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会理事	澤 俊 平
監 事	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会代表監事	西 田 悦 朗
〃	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会監事	石 川 陽 子

第74回 札幌大会参加団体一覧

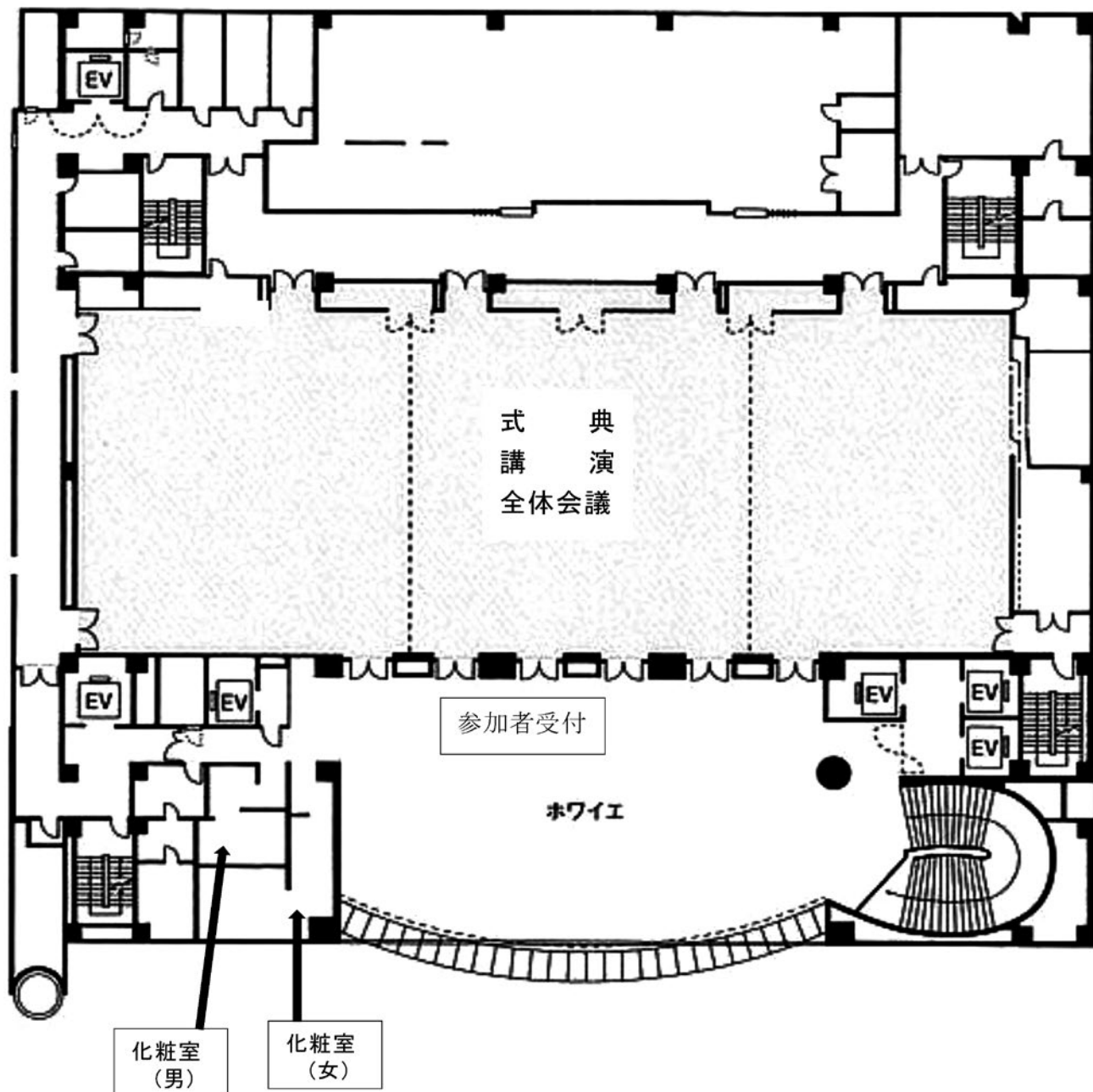
渡島地区身体障害者福祉協会	根室地区羅臼町身体障がい者福祉協会
檜山地区身体障害者福祉協会	一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会
檜山地区せたな町身体障害者福祉協会	一般社団法人小樽市身体障害者福祉協会
空知地区身体障害者福祉協会	一般社団法人釧路身体障害者福祉協会
空知地区妹背牛町身体障害者福祉協会	一般社団法人帯広身体障害者福祉協会
空知地区長沼町身体障害者福祉協会	一般社団法人北見身体障害者福祉協会
宗谷地区身体障害者福祉協会	苫小牧身体障がい者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会大空分会	芦別市身体障害者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会佐呂間分会	江別身体障害者福祉協会
網走地区身体障害者福祉協会湧別分会	紋別市身体障害者福祉協会
日高管内新ひだか町静内身体障害者福祉協会	士別市身体障害者福祉協会
十勝地区身体障害者福祉協会	滝川身体障害者福祉協会
十勝地区身体障害者福祉協会大樹分会	砂川身体障害者福祉協会
十勝地区身体障害者福祉協会音更分会	伊達身体障がい者福祉協会
十勝地区身体障害者福祉協会芽室町分会	石狩市身体障害者福祉協会
釧路地区鶴居村身体障害者福祉協会	北海道視覚障害者福祉連合会
釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会	公益社団法人日本オストミー協会北海道支部
根室地区別海町身体障がい者福祉協会	一般社団法人北海道身体障害者福祉協会

全道身体障害者福祉大会 開催地一覧表

回 数	開 催 年 月			開 催 地	回 数	開 催 年 月			開 催 地	
1	昭	27年	1952年6月	札 幌 市	39	平	2	1990年7月	砂 川 市	
2		28年	1953年6月	小 樽 市	40		3	1991年7月	滝 川 市	
3		29年	1954年7月	釧 路 市	41		4	1992年7月	紋 別 市	
4		30年	1955年12月	函 館 市	42		5	1993年7月	室 蘭 市	
5		31年	1956年6月	札 幌 市	43		6	1994年7月	留 辺 蘂 町	
6		32年	1957年6月	旭 川 市	44		7	1995年7月	稚 内 市	
7		33年	1958年6月	小 樽 市	45		8	1996年7月	江 別 市	
8		34年	1959年7月	室 蘭 市	46		9	1997年9月	小 樽 市	
9		35年	1960年8月	美 唄 市	47		10	1998年8月	芦 別 市	
10		36年	1961年8月	帯 広 市	48		11	1999年10月	北 見 市	
11		37年	1962年8月	士 別 市	49		12	2000年10月	名 寄 市	
12		38年	1963年8月	苫 小 牧 市	50		13	2001年10月	旭 川 市	
13		39年	1964年8月	千 歳 市	51		14	2002年10月	釧 路 市	
14		40年	1965年8月	岩 見 沢 市	52		15	2003年10月	函 館 市	
15		41年	1966年7月	函 館 市	53		16	2004年10月	伊 達 市	
16		42年	1967年8月	赤 平 市	54		17	2005年10月	美 唄 市	
17		43年	1968年7月	室 蘭 市	55		18	2006年10月	登 別 市	
18		44年	1969年7月	旭 川 市	56		19	2007年10月	弟 子 屈 町	
19		45年	1970年8月	札 幌 市	57		20	2008年10月	北 斗 市	
20		46年	1971年7月	小 樽 市	58		21	2009年10月	夕 張 市	
21	和	47年	1972年8月	帯 広 市	59	成	22	2010年10月	帯 広 市	
22		48年	1973年7月	釧 路 市	60		23	2011年9月	千 歳 市	
23		49年	1974年8月	北 見 市	61		24	2012年9月	釧 路 市	
24		50年	1975年7月	苫 小 牧 市	62		25	2013年5月	札 幌 市	
25		51年	1976年7月	美 唄 市	63		26	2014年7月	函 館 市	
26		52年	1977年7月	函 館 市	64		27	2015年9月	恵 庭 市	
27		53年	1978年7月	虻 田 町	65		28	2016年9月	小 樽 市	
28		54年	1979年7月	留 辺 蘂 町	66		29	2017年10月	石 狩 市	
29		55年	1980年7月	恵 庭 市	67		30	2018年9月	札 幌 市※	
30		56年	1981年6月	砂 川 市	68		令	元	2019年10月	登 別 市
31		57年	1982年6月	室 蘭 市	69			2	2020年9月	深 川 市※
32		58年	1983年7月	旭 川 市	70			3	2021年10月	帯 広 市※
33		59年	1984年6月	小 樽 市				4	未開催	
34		60年	1985年7月	岩 見 沢 市	71			5	2023年9月	紋 別 市
35		61年	1986年7月	帯 広 市	72			6	2024年9月	弟 子 屈 町
36		62年	1987年6月	千 歳 市	73			7	2025年9月	帯 広 市
37		63年	1988年7月	函 館 市	74			8	2026年9月	札 幌 市
38	平成	元年	1989年7月	釧 路 市						

※開催中止

札幌ガーデンパレス 2階平面図



第74回全道身体障害者福祉大会 札幌大会

発行年月日	令和8年9月28日
編集者	第74回札幌大会実行委員会
発行者	一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
印刷所	社会福祉法人共友会 札幌福祉印刷
